

## 事業事前評価表

## 国際協力機構アフリカ部東部アフリカ第二課

**1. 案件名（国名）**

国名：ウガンダ

案件名：中央ウガンダ地域医療施設改善計画

The Project for the Rehabilitation of Hospitals and Supply of Medical Equipment in the Central Region in Uganda

**2. 事業の背景と必要性**

## (1) 当該国における保健セクター/現状と課題

ウガンダの保健セクターについては、主要な保健指標である妊産婦死亡率が出生十萬対550（2005年）、乳児死亡率が出生千対79（2005年）である等、東部アフリカ地域の周辺国と同様、世界で最も劣悪なレベルである。また、マラリア、結核、麻疹、HIV/AIDS等の感染症が蔓延している地域でありエボラ出血熱も発生している。同国政府は「保健セクター戦略計画：（第一次：2001年～2005年、第二次：2006年～2010年）」を策定し、医療費の無料化、医療施設の増設によるアクセス率の改善、コミュニティ・レベルから県レベルまでを対象としたサービス・デリバリーの強化等に取り組んだ結果、5 km以内の最寄り医療施設へのアクセス率が全人口の49%（1999年）から72%（2004年）に改善するなど、一定の成果も現れている。他方、第2次医療施設である地域中核病院及び県病院においては、施設の老朽化や医療機材の不足が生じており、住民が十分な医療サービスを受ける上で障害となっている。

## (2) 当該国における保健セクター/開発政策における本事業の位置づけ

上記のとおり、ウガンダ政府は保健セクター戦略計画に基づく取組を進めており、本事業は地域医療レファラル体制の整備の一環として、中央ウガンダ地域における保健医療サービスの拠点であるマサカ地域中核病院及びムベンデ地域中核病院の機能を強化し、提供される医療サービスを向上させるものである。

## (3) 保健セクター/中央ウガンダ地域に対する我が国及びJICAの援助方針と実績

国立ムラゴ病院医療機材整備計画（1995年度）2.21億円 医療サービスの質向上のため、集中治療室及び中央検査室に対する機材供与

## (4) 他の援助機関の対応

アフリカ開発銀行（AfDB） 病院建設計画（2006年一） US\$30MIL マサカ、ムベンデを含む7つのメンタルヘルスユニット、ムバラ RRH、26HCⅢ、13HCⅣに対する病院施設の援助

**3. 事業概要**

## (1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本事業は、中央ウガンダ地域において、マサカ地域中核病院及びムベンデ地域中核病院の施設・機材整備を行うことにより、両病院の機能強化を通じて保健医療サービスを向上させ、地域医療レファラル体制の整備を図る。なお、本事業は「保健サービス強化プログ

ラム」に位置づけられる。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

中央ウガンダ地域（マサカ県：マサカ地域中核病院、ムベンデ県：ムベンデ地域中核病院）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容：マサカ及びムベンデ地域中核病院における、病院施設の建設及び機材の整備、X線装置、外来処置・診断機材、救急処置機材、手術用機材等

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：保守管理活動及び機材運用を強化するための技術指導

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 18.94 億円（概算協力額（日本側）：18.76 億円（うち詳細設計 1.35 億円）、ウガンダ側：0.18 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2010 年 1 月～2012 年 3 月を予定（計 27 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

実施機関：保健省保健サービス局インフラ課及びマサカ地域中核病院、ムベンデ地域中核病院

カウンターパート：ウガンダ保健省

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

①カテゴリ分類：C 環境及び社会への望ましくない影響はほとんどないと考えられる。

②影響と緩和・軽減策：特になし。

2) 貧困削減促進：該当なし。

3) ジェンダー：該当なし。

(8) 他援助機関等との連携・役割分担

特になし。

(9) その他特記事項

特になし。

#### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

先方負担事項として、既存施設の解体、建設予定地の造成・整地が行われること。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

2011 年 2 月の大統領選挙の前後の治安情勢および行政機能の維持。

#### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

特になし。

#### 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

ウガンダ政府の保健セクター戦略計画に即したものであるとともに、我が国の対ウガンダ援助重点分野である「基礎生活支援」における「保健サービス強化」プログラムに位置づけられるものである。

(2) 有効性

1) 定量的効果

マサカ地域中核病院

指標名	基準値 (2007/8 年)	目標値 (2015 年) 【事業完成 3 年後】
手術件数 (件/年)	2,491	増加する
外来患者数 (件/年)	252,969	増加する

ムベンデ地域中核病院

指標名	基準値 (2007/8 年)	目標値 (2015 年) 【事業完成 3 年後】
手術件数 (件/年)	1,213	増加する
外来患者数 (件/年)	83,620	増加する
分娩数 (件/年)	2,021	増加する
入院患者数 (件/年)	8,064	増加する

2) 定性的効果

迅速・適切な医療サービスの提供。

**7. 今後の評価計画**

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価                      事業完成 3 年後

以 上